

特色ある教育活動

D-1グランプリ(5月)

各学年ごと、学級対抗で個人種目、団体種目、学級対抗全員リレーなどを行います。どの種目でもお互いを励ましあう姿が見られます。闘志を燃やして競技する行事をとおり、団結力の育成をめざします。



2年自主研修(6月)

(R3・4は、グループに分かれて体験学習を実施) キャリア教育の一環として行っています。事業所を訪問し、働いている人から話を聞いたり体験したりすることで、職業について知識を深めるとともに、将来の職業選択や自己理解につなげます。



小中一貫教育夏期合同学習会「美原塾」(8月)

夏期合同学習会「美原塾」は夏休みに小学校5・6年生、中学生を対象に行う小学校との合同行事です。「中1ギャップ」を解消し「中1ジャンプ」につなげます。

起翔祭(11月)

(R3・4は規模を縮小し、合唱コンクール、合唱部・吹奏楽部の発表を実施) 那須野が原ハーモニーホールで行う秋の最大行事です。クラスで練習を重ね、団結力を深めた合唱コンクールは、クラスごとに素晴らしいハーモニーを奏で、聴いている人すべてに感動を与えます。



1年自主研修(11月)

(R3・4は、グループに分かれて体験学習を実施) キャリア教育の一環として行っています。自分でテーマを設定し、課題を立て、グループごとに体験活動をとおり課題を解決します。2月には自主研修で学んだことをまとめ、課題研究発表会を行います。



わくわくチャレンジウィーク(11月)

(R2・3・4はわくわくセミナーとして講師を招いて、講話・体験活動を実施) 様々な職種の事業所の方を講師として招き、自分で選んだいくつかの事業所の方の講話を聞いたり、簡単な体験活動をしりする2年生の行事です。興味のある事業所や将来就きたい職業に従事する方の話を直接聞くことで、一人一人が自己理解を深め、将来の職業選択に役立てます。



立志式(1月)

2年生が14歳になった節目の行事として行います。これまでの自分自身を振り返り、これからの生活に夢や希望をもたせるとともに、自分の言動に責任をもって生活することにつなげます。また、両親をはじめ、これまで自分を支えてくれた周りの人々への感謝の心を育てます。



授業参観(4、7月)・学校公開(12月)(R3・4は保護者にのみ公開)

4、7月に授業参観を実施します。学校公開は年1回、保護者や地域の方々に、生徒の学校での活動の様子を見ていただきます。

令和5年度

大田原中学校の教育

教育目標

○ 知性の涵養【自律学習】

望む未来を自身で示し、つくり上げていくことが求められる時代に向け、自ら学び、考え、判断し、行動できる資質・能力を育成する。

○ 体力の充実【体力増強】

活動の源である気力と体力を充実させ、豊かな人生やよりよい社会の創り手となるための資質・能力を育成する。

○ 品格の育成【礼儀の厳正】

感性や自己有用感を大切にしながら、豊かな心や社会性を培い、品位を備え、礼儀正しく、他を思いやることのできる資質・能力を育成する。

学校経営方針

本校生徒のもっているよさである(真剣な学習態度・活発な部活動・落ち着いた生活態度等)を継承しつつ、「社会に開かれた教育課程」と全ての生徒たちの可能性を引き出しながら、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ(well-being)を実現できる質の高い教育の実現を図り、保護者や地域に信頼され、生徒や教職員が誇れる「地域とともにある学校」の実現をめざす。
(※「文武両道」を実現し、人格を高める)

最重点「文武両道」

- ◇ 確かな学力の育成に向けた学習指導の充実
- ◇ 部活動・生徒会活動での生徒の主体的活動の充実
- ◇ 心の教育の充実

めざす学校像

- (1) 生徒が自分のよさや可能性をメタ認知しながら学びを深め、自己実現していくことのできる学校
- (2) 生徒が生涯にわたってたくましく生きるために、健康を保持・増進し、体力を高めていくことのできる学校
- (3) 生徒が自己肯定感・自己有用感を有しながら規範意識をもち、豊かな情操や道徳性を育成していくことのできる学校
- (4) 教職員が質の高い教育活動を推進していくために校長のリーダーシップの下、連携と分担による各種マネジメントができる学校
- (5) 新しい時代の教育や、GIGAスクール構想に対応していくために、学び続けることができる教職員を育成していくことのできる学校

一人一人が輝き、明るい笑顔が溢れる学校 【Well-being 大中】

- ◇ 全職員が一丸となって一人一人の生徒を大切にして丁寧な指導を心がける。
- ◇ ボランティアや福祉活動を通して「地域貢献」し、「人間力」の育成を図る。

本年度の基本方針及び努力点

(1) 小中一貫教育の充実

- ◎西原小学校・紫塚小学校と協働で、確かな学力の育成を重点とした小中一貫教育を推進していく。
- ・9年間の学びをつなぎ、系統的に学びを深めていくことができる環境や内容を構築していく。
- ・グローバル化する時代に国際人として活躍することができるよう英語教育の充実に努めていく。

(2) 学力の向上

- ◎新しい時代に必要とされる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現や各種マネジメントの確立に努めていく。
- ・生徒も教員もそれぞれの立場で、学びのPDCAサイクルを確立し、自己の学びや授業の質が深まるようマネジメントしていく。
- ・教科書や良書の精読と多読及び問題演習などをとおり、文章読解力の向上をめざしていく。

(3) 生徒主体の活動の充実

- ◎今も今後も必要とされる「自ら学び、考え、判断し、行動できる力」をもった生徒の育成に努めていく。
- ・生徒の自主性と主体性の育成をめざした各種学校行事・生徒会活動・部活動の実践に努めていく。
- ・生涯にわたって健康で安全な生活を送るために必要な知識と体力を養えるようにしていく。

(4) 規範意識の高い生徒の育成

- ◎教育活動全体をとおり、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めながら、道徳教育・人権教育・ESD(持続可能な開発のための教育)を充実させ、道徳心や規範意識の高い生徒の育成に努めていく。
- ・「ならぬものはならぬ」という毅然たる温度差のない生徒指導を実現していく。その際、生徒自ら考え、判断し、自己決定ができるよう支援していく。
- ・持続可能な社会の担い手を育成するため、教科横断的な学習の推進や各種体験活動を充実していく。

(5) 学年・学級経営の充実

- ◎生徒の自己実現に向け、先を見通した戦略的な学年経営の下、共同歩調での学級経営を推進する。
- ・生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるための場面の設定と支援の充実に努めていく。
- ・教育相談を充実させ、生徒の心に寄り添う指導・支援を充実していく。

(6) 地域とともにある学校づくり

- ◎家庭・地域との連携・協働を推進し、生徒が社会に参画する意識や地域への愛着や誇りをもち生活できるよう努めていく。
- ・学校運営に地域の声を生かすために、コミュニティ・スクールを中核とした特色ある学校づくりを進めていく。
- ・学校ホームページ・よいちメール・マチコミメールなどを充実させ、保護者や地域に生きて働く情報を発信していく。